

# SAPPORO LIFE SCIENCE BUSINESS

医療・健康分野の  
経営やビジネスを学ぶ！

連続  
講座

## 札幌ライフサイエンスビジネス 連続講座

医療・健康分野における起業促進や経営力向上を目的に、  
業界動向・ベンチャー経営・知財・ファイナンスなどを学べる連続講座を開催します。  
ベンチャー起業を志す方から、まずは医療・健康分野のビジネスの概要を学びたいといった方まで、  
幅広い方に受講いただける講座です。

9.12(火) 20(水) 27(水) 10.4(水) 18(水) 25(水) 11.1(水)

18:00~20:00《全7回/各回水曜日》

※基本的に全回出席が前提となります。  
※9/12講座のみ火曜日開催

会場

TKP札幌駅カンファレンスセンター

札幌市北区北7条西2丁目9 ヘルヴェオオフィス札幌 2F/3F  
JR札幌駅北口徒歩5分

会費

計7回5,000円

定員

30名

※定員になり次第、受付を終了いたします。

学生無料

対象

・大学の技術を生かした起業に興味のある方・研究者、大学院生、学生 ・マネジメント能力向上に関心のある方  
・医療・健康関連産業に従事されている方又は就職を考えている方 など

申込  
方法

MAIL kenkyu@noastec.jp または

WEB [https://www.noastec.jp/web/news/details/post\\_142.html](https://www.noastec.jp/web/news/details/post_142.html)

締切 9月7日(木)まで ※参加費のお支払い方法については、別途ご連絡いたします。  
※電話・FAXでのお申込みも受け付けます。



お問い合わせ先

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）研究開発支援部 【担当】三井、鈴木  
TEL.011-708-6392 FAX.011-747-1911 E-mail kenkyu@noastec.jp HP <http://www.noastec.jp>

【主催】(公財)北海道科学技術総合振興センター、札幌市 【後援】北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会  
北海道大学産学・地域協働推進機構 【協力】北海道経済産業局、北海道、(一財)さっぽろ産業振興財団

NOASTEC SAPPORO

1回

9.12 tue.

イノベーションに貢献する  
産学連携

産学連携はイノベーションに貢献しているか?という議論は既に過去のものとなりつつある昨今。大学発ベンチャーも社会で定着しつつあります。今回は東京大学の産学連携の実態を解説し、日本全体の産学連携によるイノベーションへの貢献や、各国との比較を通じて、今後取り組むべき課題についても議論する場とします。

株式会社東京大学TLO  
代表取締役社長 山本 貴史氏

1985年 中央大学卒。リクルートで産学連携による技術移転のスキームを提案。事業化に向けて始動させる。米国スタンフォード大学のニルス・ライマース氏と米国の技術移転に関する研究を行う。その後、リクルートにて技術移転を本格事業化。2000年に先端科学技術イノベーションセンター(現、東京大学TLO)代表取締役社長就任。



2回

9.20 wed.

医療・健康・バイオ業界の  
最新動向

バイオ分野で30年の取材歴を持つ宮田特命編集委員が、最新のバイオ産業の動向や今後の方向性を独自の鋭い視点で解説。バイオ業界での経営のヒントや起業のチャンスを見つけるトピックが盛りだくさん。成功の第一歩は業界動向の把握から。

日経BP  
特命編集委員 宮田 満氏

1979年東京大学理学系大学院修了。日本経済新聞社へ入社し、バイオテクノロジー専門誌日経バイオテク、国内初バイオ・ポータルサイトであるBiotechnology Japanなど、バイオと先端医療関連のメディアを多数創刊。現在は日経BP社特命編集委員。慶應義塾大学などで客員教授を務めるほか、国・自治体での公的活動も多数。



3回

9.27 wed.

ベンチャー経営に向けた  
マーケティング戦略

ベンチャー経営に向けて、マーケティングの発想・役割・課題、マーケティング戦略策定のプロセスおよび基本戦略(製品・サービス・価格・流通・プロモーション)を中心に、基礎的な市場戦略について説明します。

国立大学法人小樽商科大学  
副学長/教授 近藤 公彦氏

1990年神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程にて単位取得。岡山商科大学商学部講師・助教授を経て、97年小樽商科大学商学部助教授。2000年同教授。04年から同大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授としてマーケティングマネジメント等を担当。06-07年米国ノースウェスタン大学大学院客員教授。10年から同専攻長。14年同大学の大学評価・産学官連携等担当副学長に就任。



4回

10.4 wed.

厚生労働省の  
医療系ベンチャー政策  
～ベンチャー支援の今後～

平成28年に開催された「医療のイノベーションを担うベンチャー企業の振興に関する懇談会」における検討の経緯等を紹介。懇談会報告書を踏まえた厚生労働省における医療系ベンチャーの様々な支援策について、その内容や、活用を紹介いたします。

厚生労働省医政局経済課  
ベンチャー等支援戦略室長 飯村 康夫氏

1998年千葉大学大学院薬学研究科博士前期課程修了し、厚生省入省。医薬食品局 医療機器・再生医療等製品審査管理室 室長補佐、医政局研究開発振興課 課長補佐を歴任。2017年4月より医政局経済課ベンチャー等支援戦略室長として、医療系ベンチャーの支援活動を行っている。



5回

10.18 wed.

バイオ・ライフサイエンス  
分野の知的財産戦略

バイオテクノロジー、医薬、食品、化粧品、化学を専門とする一入弁理士がバイオ・ライフサイエンス分野の事業における知財戦略の重要性と基本となる知的財産権の特徴等を、実例を踏まえて解説します。

IPアシスト特許事務所  
所長/弁理士 一入 章夫氏

1986年北海道大学大学院農学研究所修了後、化学メーカーを経て、製薬会社にて知財部員。1999年弁理士登録。2000年より特許事務所勤務。2008年北海道大学産学連携本部国際戦略マネージャーに就任。2013年にIPアシスト特許事務所を開設。現在、日本弁理士会北海道支部 支部長、北海道知的財産戦略本部 本部長。



6回

10.25 wed.

ベンチャーキャピタルからの  
資金調達

東京大学エッジキャピタル(UTEC)では全国の大学発の技術の事業化支援、研究者、起業家らとの共同創業の事例を多数経験してきました。資金調達にあたってビジネスプランや資本政策を作成する上でのポイントについてご紹介いたします。

株式会社東京大学エッジキャピタル  
プリンシパル 宇佐美 篤氏

東京大学大学院にて薬学博士を取得後、三菱総合研究所で製薬、医療機器メーカー等の新規事業戦略立案や他分野製造業メーカーによるヘルスケア産業への新規事業参入支援等に従事。2013年UTECに参画し、ライフサイエンス分野を中心とするシード/アーリーステージ投資を担当。現在、投資先の社外取締役等を兼任。



7回

11.1 wed. ベンチャーを起業・  
経営して感じること

ベンチャーを一事上場へ導き、再生医療などの新規事業を意欲的に開拓する河南氏と、アナリストや投資家を経て、ベンチャー経営者として活躍する伊藤氏から、豊富な経験を踏まえたアドバイス、生々しい体験を聞くチャンス!後半は参加者との意見交換。旧知の仲で、一緒に免疫生物研究所を上場させたこともあるお2人の掛け合いにも注目です。

医化学創業株式会社  
代表取締役社長 伊藤 勝彦氏

薬学博士。薬剤師。東京理科大学薬学部修士課程修了後、製薬会社入社。2001年から証券会社で証券アナリスト業務に従事。その後、投資会社でバイオベンチャーへの投資業務を行った。現在、医化学創業代表取締役社長、ジェネティックラボ取締役、医薬品業界アナリストとして、日経バイオテクにて創業・製薬業界に関する記事を執筆。



株式会社ジーンテクノサイエンス  
取締役会長 河南 雅成氏

商社勤務時に、医薬品製造会社へ出向し経営の立て直しや、バイオ系企業へ経営参画し、株式上場などを経験。2003年ジーンテクノサイエンスの代表取締役社長に就任。産総研や北海道大学と連携による新薬と後続品開発を2本の柱とした経営を推進。2012年に東証マザーズ上場。



webにて、より詳しい略歴・概要を公開しています。 [https://www.noastec.jp/web/news/details/post\\_142.html](https://www.noastec.jp/web/news/details/post_142.html)

『札幌ライフサイエンスビジネス連続講座』参加申込書 FAX.011-747-1911 ノーステック財団 研究開発支援部行

所属機関名(会社・大学)

役職

氏名 フリガナ

電話

FAX

E-mail